

## 学級訓（学級運営の大原則）について

### ○「いじめをしない、させない、見逃さない」

- ・「見逃さない」とは、嫌な気持ちを我慢しない、いじめを見つけたら大人に相談するということ。
- ・私はいじめを絶対に認めない。
- ・いじめが発生すれば単独で行動しない。学年の先生はもちろん、部活の顧問の先生、生徒指導主事の先生、教頭先生、校長先生、そして保護者。チームで問題の解決にあたる。
- ・ただ、いじめを無くしていくために1番大切なのは、事後対応ではなく予防。
- ・予防とは、普段からいじめを許さない雰囲気を作ること。そのためにはここにいる全員の協力が必要。
- ・私は本気でいじめを根絶したいと思っている。どうかみんなの力を貸してほしい。

### ○「自分の仕事を完璧にやり通す」

- ・仕事には係や委員会の仕事だけでなく、日直や給食当番、提出物の期日を守ることも含まれる。
- ・学校は集団生活の場。集団生活は、それぞれの個人が自分の仕事をきっちりやることで成り立っている。
- ・だから自分勝手な行動は、必ず誰かの負担になる。
- ・自分の仕事をしっかりやりぬくことを通して、みんなが生活しやすい環境づくりを学び、ここにいる全員がクラスにとって必要な人になってほしい。

### ○「掃除、整理整頓の徹底」

- ・キーワードは、「全員で協力し・すばやく・丁寧に」
- ・学校は公共の施設。みんなでする場所だからみんなで手分けして掃除をする。
- ・自分の心を磨くつもりで、細かいところまで丁寧に掃除してほしい。
- ・また、この教室は自分だけのためにある部屋ではなく、これから1年間このメンバーで集団生活をしていく場所。整理整頓し、環境を整えることで安全かつ快適に生活することができる。
- ・普段から場所や物を誰かと共有しているという「他者への意識」を持つことは、いじめ防止にもつながると思っている。
- ・思いやりを形で表し、学年1きれいな教室を目指そう。

日々走り続ける全国の先生方へ、敬意を込めて。 presented by 「全国先生お手伝いブログ」